

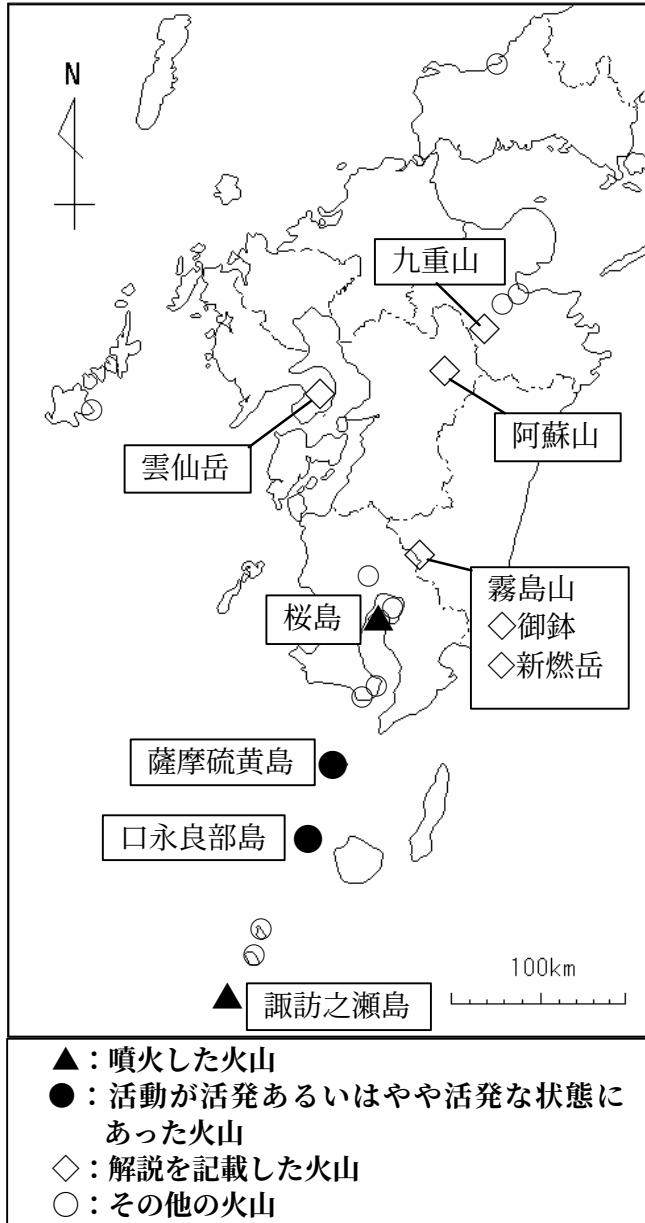
九州地方の火山活動解説資料(平成 19 年 5 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

【5月の活動概況】

諏訪之瀬島は活発な状況が続いています。桜島では、比較的静穏な噴火活動が続いています。
薩摩硫黄島及び口永良部島はやや活発な状況が続いています。

九州地方および山口県の活火山



- ◇ 九重山[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。
- ◇ 阿蘇山[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。
火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。
- ◇ 雲仙岳[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。
- ◇ 霧島山
[◇御鉢 静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。
[◇新燃岳 静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。
- ▲ 桜島[比較的静穏な噴火活動(レベル2)]
昭和火口及び南岳山頂火口で小規模な噴火が発生しましたが、噴火活動は比較的静穏な状態で経過しました。火山性地震や火山性微動は少ない状態で推移しました。
- 薩摩硫黄島[やや活発な状況(レベル2)]
噴煙活動、地震活動ともにやや活発で、火山活動はやや活発な状態で経過しました。
- 口永良部島[やや活発な状況(レベル2)]
火山性地震、火山性微動はやや多い状態が続いており、火山活動はやや活発な状態で経過しました。
- ▲ 諏訪之瀬島[活発な状況(レベル3)]
爆発的噴火や噴火が時々発生するなど、火山活動は活発な状態で経過しました。

注1 本資料中で記したレベルとは、現在 12 火山(うち九州地方及び山口県では 8 火山)に導入している火山活動度レベルをいいます。

この解説資料は気象庁 HP(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象台 HP(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)に掲載しています。次回の火山活動解説資料(平成 19 年 6 月分)は 7 月 9 日に公表予定です。

この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、大分県、阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ(標高)」、「数値地図 10mメッシュ(火山標高)」、「2万5千分の1の地形図」を使用しています(承認番号:平 17 総使、第 503 号)。

火山情報発表状況

火山名	火山情報名	発表日時	概 要
桜 島	火山観測情報第 1 号	5 月 16 日 09 時 05 分	比較的静穏な噴火活動(レベル 2) 昭和火口からごく小規模な噴火が発生しました。同火口からの噴火は 2006 年 6 月 20 日以来です。